

# 米軍横田基地監視レポート

by 羽村平和委員会 2021年7月

YOKOTAJOHOのブログ その2 2020年～  
yokotajohoのブログ 2010年～2019年

オスプレイ配備とともに、特殊部隊の訓練、出撃基地として強化されている



常時、重機関銃を住宅地に向けて飛行するオスプレイ



近くでみると大きい！2019年友好祭展示

## 特殊部隊を送り込む訓練が日常的に行われている



ロープを使い、兵士が次々に地上へ降りる

特殊部隊とは…アジア・中東などの地域に出動し、内戦への介入や破壊工作、特殊潜入及び偵察、要人の拉致・暗殺などを任務とする。

よく知られているのは2011年5月1日深夜、アフガニスタンを出発した米軍ヘリ「ブラック・ホーク」2機がパキスタンへ通告無しに侵入し、特殊部隊がヘリから降りて、ウサマビンラディンの隠れ家に潜入、ビンラディンとその家族、護衛を殺害し、ビンラディンの遺体、パソコン、ハードディスクなど大量の押収資料をヘリに積み込み帰途についた**急襲作戦**。現地滞在時間は36分だった。

この作戦に使ったブラック・ホークに比べて、オスプレイは約1.7倍の速度で移動できるので、今後は特殊作戦の主力になると見られている。



専用担架を使い負傷者を吊り上げる



Yokota Air Base  
Official Website (FJ)

横田基地では、建物内部に潜むゲリラを捜し出し確保する訓練も日常的に行われている。

オスプレイは2018年4月に5機配備され、2024年までに10機になる予定。そのため横田基地では東側に、特殊作戦司令部、特殊部隊棟。チャフ、フレア、武器等の貯蔵庫、シミュレータ棟など機能強化のための工事が行われている。(3ページ図)

## パラシュート降下で敵地・紛争地に部隊を送り込む



● 2012年1月10日、米陸軍アラスカ空挺部隊による  
100名規模の人員降下訓練。  
これ以降、毎年大規模な人員降下訓練が行われている。



● 高度約2,000m上空のオスプレイから  
沖縄の米陸軍特殊部隊グリーンベレー  
がパラセールで人員降下



### 自衛隊との合同訓練も増える

今年3月 陸上自衛隊・空挺部隊が約570人横田基地  
所属の輸送機C-130を使い富士演習場で降下訓練。

↓ 御殿場平和委員会撮影。



## 戦闘機・攻撃機の出撃基地として強化されている



- 2016年1月 20, 21日アラスカ州エルメンドルフ基地のステルス戦闘機F-22が14機飛来、22日アラスカ州イールソン基地・アグレッサー部隊の戦闘機F-16が6機飛来。一度に20機の飛来は異例、米側は「受け入れ能力のチェック」と説明。戦闘機部隊がアジアへ緊急展開するための訓練
- 以来、毎年、戦闘機・攻撃機が一度に10～20機飛来することが増えている。



↑ 週末に、米海軍、海兵隊の戦闘攻撃機F/A-18が数機飛来し、横田基地周辺で飛行訓練。年に数回、繰り返されている。

### ●今年5月在韓米空軍の攻撃機A-10が14機飛来

例年、アラスカで行われる合同訓練「レッドフラッグアラスカ」に参加するために横田基地に立ち寄った。「レッドフラッグ」は旧ソ連と中国の国旗が赤旗であり、それを仮想敵国に見立てて、戦闘・攻撃訓練を行っている。



### ●米空軍の無人偵察機グローバルホーク

毎年5月～10月に4～6機グアムから来ている。離着陸は横田基地で無線操縦、上空では米本土から衛星通信で無線操縦する。2隊いて、1隊は朝鮮半島へ、もう1隊は南シナ海へ出かけ、高度約16,000mの上空から写真撮影など情報収集をする。現在、横田基地東側に駐機場・格納庫整備工事中（上図）。完成したら横田基地に常駐する予定。

